

# より良い地図の学習法をめざして

～実践マップスキル研究会の取り組みと展望～

実践マップスキル研究会 事務局



## ■地図の「活用」と技能の 「習得」をめざして

『実践マップスキル研究会』は「地図の活用とそのため技能の習得」をめざして、2002年に発足しました。以来、夏季に全国大会（2日）、冬季に地方大会（1日）を開催しています。これまでに14回の研究大会を重ね、小・中学校を中心に、全国から延べ400名以上の先生方が参加されました。

大会は、基本的に地図の専門家による講義形式で行いますが、一方通行ではなく、「地図の旅」「アメリカ大陸横断地形指導術」「ドット・マップの作成」などの具体的なテーマに沿って、議論や作業によって学習法を研究する参加型の「アクティビティ」を中心としています。

たとえば、「地図の旅」では、土地利用と植生表現による北海道の地図を読み取って、釧路から網走まで列車の旅をしたつもりになり、車窓の風景を文章で表現します。それを各参加者が発表し、互いに意見を述べ合うことで地図の読図の視点・方法を深めていきます。

全国大会の2日目には、講師を中心に開催地の「自然」「歴史」「産業」を調査するフィールドワークを実施しています。フィールドワークの視点・ポイントを身につけることを目標としています。

2005年夏には、通常の大会に加え、北海道の札幌市、小樽市での3日間の巡検を行いました。講師や地元の先生方の指導のもと、小学校での身近な地域のフィールドワークの方法や北海道を題材とした教材の研究・開発を

行いました。

## ■研究内容のグレードアップ ～アクティビティの対象学年・場面を明確に～

研究大会を重ねていく過程で、先生方から「アクティビティをどの場面で活用すると効果的か、対象学年と単元も明確にしてほしい」という要望が出てきました。また、複数回、参加された先生方から「新しいアクティビティを実践してほしい」というご意見も届いています。小・中学校の新学習指導要領が告示されたこともあり、2008年夏の第13回大会では、「小・中学校での授業で実践できる地図の指導法を徹底研究する」という目標のもと、対象学年・場面を明確にしたアクティビティの開発を進めました。たとえば、小学校2年生を対象としたアクティビティ「つうがくろのあんぜんちずをつくってみよう」では、先生方が、自宅から学校までのルートマップを作成し、お互いに自分の作品をプレゼンすることで、地図づくりに必要な視点を追究していきました。社会科だけでなく子どもの生活により密着した生活科での地図指導も対象にしています。

また、小学校4年生を対象としたアクティビティ「都道府県との出会いと地図」では、自分が住んでいる都道府県の白地図に、「なにが（記号）」「どこに（位置）」「どのように（分布）」という視点で、さまざまな要素を書き入れることで、都道府県の特徴をとらえる方法を研究しました。それぞれの要素を結びつけることによって、たとえば「水田が、川

にそって、細長くひろがっている」「工場が、河口の近くに、たくさん集まっている」「高速道路が、大きな町を、結んで走っている」という因果関係が発見でき、「川」と「高速道路」をキーワードとして、県の特徴をとらえるという視点が浮かびあがってきます。

小学校5年生を対象としたアクティビティ「ICT\*や新聞を活用した地図・地球儀学習」では、インターネットや新聞などから得られる情報を地図や地球儀から得られる情報と関連づけて社会科の学習に活かす方法を研究しました。

今後も、より具体的な指導場面を想定した学習法を研究していく予定です。

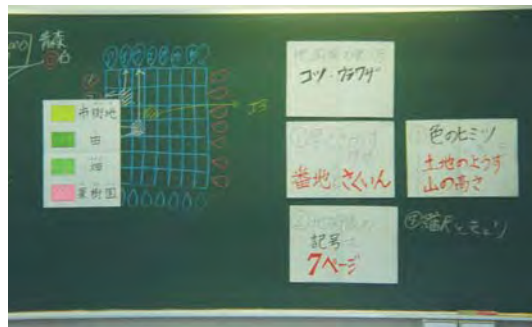
## ■新たな試みを実践

～キャリアの浅い先生方対象の講座を開講～

一方、比較的キャリアの浅い先生方からは「もっと基本的な地図指導の講座を開催してほしい」との要望も届きます。そこで、2007年より、小学校の先生の方のみの募集で「初任から5年以内の先生対象のマップスキル・スキルアップ講座」を夏季に2日間開講しています。

本講座では、まず、事務局による地図の基礎・基本の指導の模擬授業（さくいん・記号・色・方位・縮尺など）を受けて、先生方が基本的な指導案を作成します。さまざまな講習を経て、初日の終了時まで先生方がそれぞれレベルを上げた独自の地図指導案を作成します。その指導案を講師が持ち帰って検討、2日目にはそれをもとに個別に指導するアクティビティがメインプログラムとなります。その他にもフィールドワークの基本的な方法・視点を学んだり、児童が興味・関心を持つ楽しい地図アクティビティを研究するなどのプログラムを実践しています。また、先生方が自由に歓談できる「談話タイム」を設

けるような工夫もしています。参加者からは、「同世代同士で、情報交換や意見交換ができる」「模擬授業により、指導法がイメージしやすい」「指導案を作るのは難しいが、丁寧に指導してもらえるので、ためになる」「開催時期が夏休み中なので、2学期以降の指導に生かせる」といった声が届いています。



模擬授業の板書内容

## ■全国へ広がるマップスキル研究会

新学習指導要領では、小・中学校とも、地図や地球儀の活用が重要視されています。たとえば、小学校第5学年の目標と内容のなかに「世界の主な大陸と海洋、主な国の名称と位置、我が国の位置と領土、国旗、国土の地形や気候の概要などについて地図帳や地球儀、統計資料などを活用して調べることが考えられる」という文言があります。これらの目標と内容を改めて研究し、アクティビティの内容を随時、グレードアップしていく予定です。

さらに、参加された先生方が、ご自分の指導実践を発表する場を設け、その内容を討議するなど、先生方同士が双方向から意見交換・情報交換ができる「地図指導の広場」としての役割も担っていただければと考えています。

ご意見・お問い合わせにつきましては、Eメール (mapskil@yahoo.co.jp) もしくはFax (03-3262-0846) にてお寄せください。

また、開催案内は随時、本冊子に同封してお送り申しあげますので、ぜひ、今後のご参加をご検討ください。講師および事務局一同、心よりお待ちしております。

\* Information and Communication Technology